

令和4年度 企画管理部長「政策宣言」中間報告

企画管理部長 小塚 悟

○ 令和4年度重要事業

事業名	第3次射水市総合計画の策定
目標	「未来世代から選ばれるまち いみず」を目指し、これまで以上に満足度の高い新たなまちづくりを推進するため、市民意識調査やタウンミーティング等で市民の皆様からいただいた意見を踏まえるとともに、ウェルビーイングといった新たな観点も取り入れながら、第3次射水市総合計画を策定します。
進捗状況	昨年度から引き続き、射水市総合計画審議会（全体会）を4回、部会（未来創造、安全安心、活力元気）を各4～5回開催して基本構想及び基本計画の内容について協議し、素案を作成しました。 作成した素案についてはパブリック・コメントを実施し、市民から広く意見を募集したところです。
今後の対応	パブリック・コメントでいただいたご意見等を踏まえて、審議会にて計画案の修正について協議を行い、とりまとめた計画案について審議会からの答申を受けた後、市議会に議案を提出します。

事業名	行財政改革の推進
目標	本市の補助金制度の適正な運用を図り、市の政策目的を効率的かつ効果的に実現していくため、補助金ガイドラインの策定に取り組むほか、引き続き第4次行財政改革大綱及び集中改革プランの進行管理に努めるなど、着実に行財政改革を進めます。
進捗状況	補助金適正化に関するガイドラインについては、行財政改革推進会議での審議を経て9月市議会で報告し、策定しました。 第4次行財政改革集中改革プランについては、民間提案制度の導入やDXの推進といった取組について追加や変更を行い、令和4年度改訂版を9月に公表しました。
今後の対応	補助金適正化に関するガイドラインに沿って、補助金の適正な運用を図るとともに、行財政改革大綱及び集中改革プランに掲げた取組を着実に実行し、引き続き行財政改革を推進してまいります。

事業名	DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進
目標	<p>新たなデジタル技術を活用し、市民サービスの充実と利便性向上を図るため、本市をフィールドとした高等教育機関との共同研究に取り組みます。</p> <p>また、多様化するニーズへの対応など市民サービスの充実を図るため、AI（人工知能）やRPA（ロボット）を活用した定型業務の自動化による業務の効率化に努めます。</p>
進捗状況	<p>「新しい地域交通」、「シェア社会」、「健康管理」の3つのテーマについて、富山県立大学DX教育研究センターと共同で研究を進めています。</p> <p>また、RPAを活用して定型業務の自動化を促進するなど、行政事務の効率化に努めました。</p>
今後の対応	<p>DXの推進に向けたワーキンググループに富山県立大学の教員や学生も参加していただき、大学が持つ先端的な技術や知見を活かして、市民の利便性向上につなげていくための調査・研究を引き続き進めます。</p>